

令和7年10月10日（金）

令和7年度ライフデザイン支援事業 ～高校生のライフデザインセミナー～
「赤ちゃんが学校にやって来る」

10月6日（月）、10月9日（木）に、NPO法人水戸こどもの劇場の方を講師に、ゲスト親子3組／日をお招きして、高校生のライフデザインセミナーを実施しました。

この取り組みは、自分の将来について考える時期である高校生を対象に、結婚や出産、子育てに対するポジティブな意識を醸成し、進学・就職後のライフデザイン形成を支援することを目的に、茨城県福祉部子ども政策局少子化対策課などが実施主体となって、毎年、希望校で開催されています。

本校は、2学年4クラスを対象にして、家庭基礎の授業で実施しました。

誠進館の広い畳の部屋で、講師が司会をして、ゲスト親子へインタビューや、その後、グループワークで赤ちゃんともふれあい体験をしました。また、子育ての記念品や生まれた時の写真などを見させていただきました。生徒たちは、赤ちゃんを抱っこする時に、笑顔を見せていました。自分が子どもだった時のようすや父母の気持ちを考えていた生徒もいました。

ゲスト親子から「二人姉妹で、妹が初めて家に来た時に、お姉ちゃんがとてもうれしそうに接していたこと」「8歳の息子が娘の名前を付けて、息子の宝物が娘になって、息子の宝物だった母親として少しさみしく思うが、家族みんなで楽しく過ごしていること」「赤ちゃんとは出かける時は、荷物が多くなるが、楽しさも大きくなること」などの子育ての楽しさや思い出、家族のエピソードを話していただきました。

生徒には、10代後半から20代、30代と成長する中で、自分の人生を大切に過ごして、ライフデザイン形成をしてもらいたいと思います。

